令和5年度（令和4年度事業対象）

御殿場市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等

＜令和4年度主要施策報告書＞

令和5年10月

御殿場市教育委員会

目次

◆ 自己点検及び評価の概要 1

1. 点検・評価実施の経緯について 1

2. （参考）関係法令の抜粋 1

◆御殿場市教育委員会自己点検・評価 2

1. 教育委員会主要行事 3

2. 教育総務課 6

3. 学校教育課 9

4. 社会教育課 15

5. 学校給食課 29

◆監査委員による決算審査の概要 32

1. 審査の実施概要 32

2. 決算内容の説明 32

3. 決算に対する確認等及び説明の概要 32

（1）【歳入】 32

（2）【歳出】 32

◆ 自己点検及び評価の概要

1. 点検・評価実施の経緯について

平成19年6月に教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」が改正されました。

この法改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに市民に公表することが義務付けられました。

そこで、令和4年度までは、毎年懇話会を開催し教育委員会外部の方からの意見聴取を行うことにより、自己点検・評価を行ってきました。

一方で、地方分権改革の一環として、事務負担軽減のために、地方自治法第233条第 5 項の書類の作成及び議会への提出をもって法第 26 条第 1 項の義務を充足させたとしても差し支えない旨の通知が文部科学省より発出されたことから、令和 5 年度から、毎年作成し議会へ提出している「主要施策報告書」を御殿場市教育委員会の行う法第 26 条第 1 項の報告書として取り扱うこととしました。

なお、同法第 2 項への対応として、監査委員の行う教育部の決算審査を、学識経験を有する者の知見として活用し、その結果を掲載したものを自己点検・評価の報告書として公表するものです。

2.（参考）関係法令の抜粋

<参 考> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 （抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

<参 考>地方自治法 （抜粋）

（決算）

第233条 会計管理者は、毎会計年度、政令で定めるところにより、決算を調製し、出納の閉鎖後三箇月以内に、証書類その他政令で定める書類と併せて、普通地方公共団体の長に提出しなければならない。

2 普通地方公共団体の長は、決算及び前項の書類を監査委員の審査に付さなければならない。

3 普通地方公共団体の長は、前項の規定により監査委員の審査に付した決算を監査委員の意見を付けて次の通常予算を議する会議までに議会の認定に付さなければならない。

4 前項の規定による意見の決定は、監査委員の合議によるものとする。

5 普通地方公共団体の長は、第三項の規定により決算を議会の認定に付するに当たっては、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類その他政令で定める書類を併せて提出しなければならない。

6 普通地方公共団体の長は、第三項の規定により議会の認定に付した決算の要領を住民に公表しなければならない。

7 【略】

◆御殿場市教育委員会自己点検･評価

（教育部　主要施策報告書）

教育総務課

学校教育課

社会教育課

学校給食課

1.教育委員会主要行事

月 日	行 事 ・ 事 業	担 当 課
4月 6日	市内小・中学校入学式	学 校 教 育 課
4月 7日	市立幼稚園入園式	学 校 教 育 課
4月9日・5月7日	新図書館の整備に向けた市民ワークショップ	図 書 館
4月20日	第1回ブックスタート事業（年22回）	図 書 館
4月26日	市家庭教育学級開講式及び第 1 回運営委員研修会（年 6 回）	社 会 教 育 課
5月 9日	青少年補導委員委嘱状交付式及び連絡会議	社 会 教 育 課
5月11日	第1回楽しい子育て教室（2歳児11回、1歳児5回）	社 会 教 育 課
5月18日	第1回文化財審議会（年4回）	社 会 教 育 課
5月30日	第1回青少年問題協議会（年2回）	社 会 教 育 課
5月31日	第1回地域づくり活動主事連絡会（年3回）	社 会 教 育 課
6月 1日	第1次御殿場市就学支援委員会	学 校 教 育 課
6月 1日	青少年健全育成会連絡協議会（年1回）	社 会 教 育 課
6月2日・16日	新図書館の整備に向けた小学生ワークショップ	図 書 館
6月 8日	御殿場市・小山町授業研修会	学 校 教 育 課
6月13日	第1回社会教育委員会（年4回）	社 会 教 育 課
6月20日	学校専門相談医制度運営懇話会	学 校 教 育 課
6月21日	家庭教育学級第1回ふじざくら編集委員会（年2回）	社 会 教 育 課
6月23日	第1回学校給食センター運営委員会	学 校 給 食 課
6月27日	文学散歩	図 書 館
7月 1日～9月15日	夏に青少年を守り育てる運動	社 会 教 育 課
7月1日～8月31日	夏休み宿題応援コーナー開設、夏休み読書ラリー、DVD 鑑賞会、夏休み工作教室	図 書 館
7月 5日・14日・15日	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」	学 校 給 食 課
7月 6日	県内一斉夏季立入調査	社 会 教 育 課
7月 7日	御殿場市教育委員会管理及び執行状況に関する懇話会	教 育 総 務 課
7月 7日	第1次御殿場市就園支援委員会	学 校 教 育 課
7月11日	地域づくり活動学習講座	社 会 教 育 課
7月14日	第1回御殿場市立図書館協議会（年2回）	図 書 館
7月16日	統計出前講座	図 書 館
7月20日	県内一斉夏季少年補導	社 会 教 育 課

月 日	行 事 ・ 事 業	担 当 課
7 月 20 日	第 1 回生涯学習推進会（年 2 回）	社 会 教 育 課
7 月 27 日	御殿場市教育フォーラム 2022	学 校 教 育 課
8 月 1 日	第 1 回子ども読書活動推進会議（年 2 回）	図 書 館
7 月 28 日～ 8 月 1 日・ 8 月 3 日	小・中学校会計・備品検査	教 育 総 務 課
7 月 28 日～ 8 月 1 日・ 8 月 3～4 日	小・中学校事務検査	学 校 教 育 課
8 月 25 日	市民大学講座（年 5 回）	社 会 教 育 課
8 月 29 日	第 1 回総合教育会議	教 育 総 務 課
9 月 5 日	放課後子どもプラン運営委員会	社 会 教 育 課
9 月 14 日	第 2 次御殿場市就学支援委員会	学 校 教 育 課
9 月 27 日	西学校給食センターボイラー室改修工事完了	学 校 給 食 課
10 月 3 日	令和 4 年第 2 回教育委員会臨時会	教 育 総 務 課
10 月 7 日	学校図書館担当者・ボランティア合同連絡会議	図 書 館
11 月 1 日～ 11 月 30 日	子供・若者育成支援強調月間	社 会 教 育 課
11 月 3 日～ 11 月 6 日	図書館まつりウィーク	図 書 館
11 月 9 日	ブックスタート学習会	図 書 館
11 月 11 日	青少年センター運営懇話会	社 会 教 育 課
11 月 15 日・ 30 日	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこハヤシ」	学 校 給 食 課
11 月 25 日	第 2 回総合教育会議	教 育 総 務 課
11 月 30 日	学校専門相談医制度合同研修会	学 校 教 育 課
12 月 1 日	第 2 次御殿場市就園支援委員会	学 校 教 育 課
12 月 7 日	社会環境実態調査	社 会 教 育 課
12 月 9 日～ 1 月 10 日	年末年始に青少年を守り育てる運動	社 会 教 育 課
12 月 14 日	県内一斉冬季少年補導	社 会 教 育 課
12 月 16 日	第 2 回学校給食センター運営委員会	学 校 給 食 課
12 月 21 日	御殿場市教育研究奨励賞授与式	学 校 教 育 課
1 月 7 日・ 14 日・ 21 日	古典文学講座	図 書 館
1 月 8 日	令和 5 年二十歳の集い	社 会 教 育 課

月 日	行 事 ・ 事 業	担 当 課
1 月 25 日・26 日・30 日	食物アレルギー対応給食みんなで食べる「ごてんばこめこカレー」	学 校 給 食 課
1 月 27 日	新図書館等整備事業敷地造成工事完了	図 書 館
1月 30 日	西中学校屋内運動場改築工事完了	教 育 総 務 課
2 月 10 日	新図書館等整備事業下流河川工事完了	図 書 館
2 月 19 日	生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」	社 会 教 育 課
2 月 25 日	読み聞かせ学習会	図 書 館
3 月 13 日	西中学校屋内運動場完成報告会	教 育 総 務 課
3 月 16 日	令和 5 年第 1 回教育委員会臨時会	教 育 総 務 課
3 月 16 日	市立幼稚園卒園式（原里西幼稚園を除く）	学 校 教 育 課
3 月 17 日	原里西幼稚園卒園式・閉園式	学 校 教 育 課
3 月 18 日	市内小・中学校卒業式	学 校 教 育 課
	定例教育委員会（毎月開催）	教 育 総 務 課
	はればれダイヤル（通年）	社 会 教 育 課
	各種青少年補導（通年）	社 会 教 育 課
	青少年センターだより発行(年 4 回)	社 会 教 育 課
	市民芸術祭（7 月～2 月：全 23 回） 美術展、書道展、刀剣展示会、文化展、和装作品展示、華道展、写真展、ジュニアアート展（書道部門・絵画部門、小学生の部・中学校の部）、キッズ絵画展（幼稚園の部・保育園の部）、ジュニアフェスティバル、洋舞フェスティバル、邦楽のつどい、日本芸能のつどい、コーラスフェスティバル、吹奏楽のつどい、オープニングセレモニー、囲碁大会、着物の着付け体験、小中学生将棋大会、もみじ茶会	社 会 教 育 課

2. 教育総務課

第1 主要事業

事　業　名 決算額（円）	概　　要
教育委員会 2,555,905	教育行政に関する施策、運営方針等の審議及び協議を通じ、教育機関の活性化や教育文化の充実が図られた。
総合教育会議	市長と教育委員会が相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、市長が開催する総合教育会議にて意見交換を行い、教育の課題やあるべき姿の共有を図った。
小・中学校 備品検査・会計検査	小・中学校の備品及び各会計の執行状況等を検査し、適正な執行管理の徹底を図った。
学校施設整備事業 839,387,352	教育施設・設備の整備を推進し、教育環境の改善を図った。
教育用コンピュータ 整備事業 336,352,420	校務用パソコン、1人1台端末等のICT機器の維持管理を行い、個別最適な学び・協働的な学びの推進及び教職員の負担軽減を図った。
ICT支援員配置事業 17,160,000	GIGAスクール構想による1人1台端末の整備に伴い、端末に関するサポートや授業における効果的な活用を支援するための支援員を配置し、ICT教育の充実を図った。
育英奨学金貸付事業 5,760,000	高等学校・大学に進学する者に奨学金を貸与し、優秀な人材の育成を図った。令和 4 年度貸与中の者は、専修学校生（専門課程）1 人（月額 30,000 円）・大学生 15 人（月額 30,000 円）。令和 4 年 4 月 1 日現在貸付金を返済中の者は 93 人であった。
一般・教材備品 整備事業 13,918,325	小・中学校の施設に必要となる備品及び児童生徒の学習に必要となる教材備品の整備充実を図った。

第2　事務事業

（1）教育委員会

区　分	令和４年度	令和３年度
教育委員会	定例会　12回 臨時会　２回	定例会　12回 臨時会　３回

（2）総合教育会議

区　分	令和４年度	令和３年度
総合教育会議	２回	１回

（3）　小･中学校備品検査

区　分	令和４年度	令和３年度
小･中学校備品検査 （廃棄備品確認含む）	小学校　11校	小学校　11校
	中学校　６校	中学校　６校

（4）　学校施設整備事業

区　分	令和４年度	令和3年度
小学校環境整備事業	御殿場小学校 校舎改修工事 仮設校舎設置借上	御殿場小学校 校舎改修工事設計業務委託 仮設校舎設置借上
中学校環境整備事業	富士岡中学校 暫定校舎借上 御殿場中学校 バリアフリー改修設計業務委託	富士岡中学校 暫定校舎借上
西中学校校舎改築事業	屋内運動場改築工事 既存屋内運動場解体工事 歩道整備･外構工事等設計業務委託	外構付帯受変電設備工事 屋内運動場改築工事 屋内運動場改築基本実施設計業務委託

（5） 一般･教材備品整備事業

区 分	令和４年度	令和３年度
各小学校備品 購入事業	小学校 11 校 一般備品 2,396 千円	小学校 11 校 一般備品 223 千円
各小学校教材用 備品購入事業	小学校 11 校 教材･理科備品 2,847 千円	小学校 11 校 教材･理科備品 3,528 千円
各中学校備品 購入事業	中学校６校 一般備品 1,208 千円	中学校６校 一般備品 981 千円
各中学校教材用 備品購入事業	中学校６校 教材･理科備品 7,466 千円	中学校６校 教材･理科備品 7,629 千円

（6） 要保護･準要保護児童生徒就学援助状況 （単位:人）

	令和４年度	令和３年度
小 学 校	232	243
中 学 校	171	181
計	403	424

（7） 特別支援教育就学奨励費支給状況 （単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小 学 校	148	147
中 学 校	45	31
計	193	178

3. 学校教育課

第1 主要事業

事　業　名 決算額（円）	概　　要
教育相談事業 14,321,351	児童・生徒のいじめや不登校問題の解消を図るため、中学校区ごとに相談員を配置し、児童・生徒の悩み等を聞いたり、励ましたりすることにより、元気に登校できるよう支援活動を実施した。
外国人英語指導者配置事業 56,674,200	市内 6 中学校・10 小学校に、ALT(外国人英語指導者)12 名をそれぞれ配置し、英語教育の充実を図るとともに、いろいろな場面で身近に外国人と接し、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を養成した。
外国人児童生徒適応指導事業 7,393,689	小・中学校に在籍する外国人を対象に日本語指導、日常生活への適応指導・相談活動等のできる指導員を 3 名派遣し、学校生活への円滑な適応を図った。
市教育研究指定校事業 365,000	東小学校・原里中学校が学習評価研究、高根小学校・高根中学校がコミュニティスクール研究、南中学校が学力向上（ICT）研究を行った。
特別支援教育推進事業 1,814,659	通常の学級に在籍する発達障害のある子どもへの支援を目的に、教育委員会に専門家チームを組織し、巡回指導員を交え、各学校への指導助言を実施した。
夢創造事業 2,448,000	心豊かな人づくりを目的とし、講演会や鑑賞会、体験活動など、各学校が子どもの実態に基づき、特色ある事業を実施し、情操教育や生き方教育の有効な手立てとなった。
児童生徒健康管理事業 17,670,218	小・中学校全児童生徒に対して、内科・耳鼻科・眼科・歯科の健診、心臓病・尿・結核等の検査を行い、疾病が疑われる者に対し精密検査を実施した。新入学児童に対しても校医の聴打診・尿等の検査を行い、疾病が発見された者に対し治療勧告をし、健康で明るい学校生活が送れるように指導した。
教職員健康管理事業 6,178,799	小・中学校の教職員等に対し、生活習慣病・指定年齢・人間ドックの健康診断を実施した。
幼児教育支援事業 85,000	幼児教育の充実、幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携、家庭教育の在り方等についての推進を図った。

第2 事務事業

1 入園･入学者状況

（単位:人）

		令和４年度	令和３年度
幼　稚　園	男	76	73
	女	66	92
	計	142	165
小　学　校	男	366	352
	女	356	371
	計	722	723
中　学　校	男	402	429
	女	401	395
	計	803	824

2 卒園･卒業者状況

（単位:人）

		令和４年度	令和３年度
幼　稚　園	男	77	97
	女	91	102
	計	168	199
小　学　校	男	388	417
	女	392	412
	計	780	829
中　学　校	男	451	408
	女	404	401
	計	855	809

3 中学校卒業者の進路状況　（単位:人）

		令和４年度	令和３年度
進　学　者	男	445	402
	女	402	397
	計	847	799
専修学校入学者	男	2	0
	女	1	2
	計	3	2
就　職　者（その他を含む）	男	4	6
	女	1	2
	計	5	8
卒業者総数	男	451	408
	女	404	401
	計	855	809

4 中学校卒業者の進学状況　（単位:人）

		令和４年度	令和３年度
県内国公立校	男	236	198
	女	218	226
	計	454	424
県内私立校	男	165	162
	女	160	160
	計	325	322
県外校	男	36	32
	女	17	10
	計	53	42
高専	男	8	10
	女	7	1
	計	15	11
進学者総数	男	445	402
	女	402	397
	計	847	799

5 児童・生徒転入状況（市内移動も含む）　（単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小　学　校	109	110
中　学　校	22	12
計	131	122

6 児童・生徒転出状況（市内移動も含む）　（単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小　学　校	187	186
中　学　校	41	28
計	228	214

7 校区外就学状況（市内の指定学校変更）　（単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小　学　校	38	38
中　学　校	15	13
計	53	51

8 区域外就学状況（他市町村にわたる学校変更）　（単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小　学　校	56	51
中　学　校	15	9
計	71	60

9 市就学支援委員会

	令和４年度	令和３年度
委　員　会	３回	３回
支　援　件　数	438 件	454 件
措　置　件　数	51 件	59 件
通級指導件数	80 件	87 件

10 教育研究奨励賞

		令和４年度	令和３年度
応募状況	小 学 校	15 件	10 件
	中 学 校	11 件	10 件
	幼 稚 園	2 件	1 件
	保 育 園	1 件	1 件
	総　数	29 件	22 件
審査結果	最 優 秀 賞	2 点	1 点
	優 秀 賞	12 点	8 点
	特 別 賞	0 点	1 点
	優 良 賞	15 点	12 点

11 教職員数（県費）　（単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小　学　校	276	281
中　学　校	166	160
計	442	441

12 児童・生徒の脊柱側彎症検診状況　（単位：人）

	令和４年度	令和３年度
小　学　校	16	19
中　学　校	16	16
計	32	35

13 児童・生徒の尿検査状況　（単位：人）

		令和４年度	令和３年度
一次検査	小 学 校	4,443	4,647
	中 学 校	2,459	2,497
	計	6,902	7,144
二次検査	小 学 校	47	41
	中 学 校	83	84
	計	130	125
三次検査	小 学 校	6	9
	中 学 校	10	9
	計	16	18

14 児童・生徒の心臓病検診状況　（単位：人）

		令和４年度	令和３年度
一次検査	小 学 校	723	725
	中 学 校	802	821
	計	1,525	1,546
二次検査	小 学 校	12	8
	中 学 校	22	21
	計	34	29

15 児童・生徒の災害発生件数（日本スポーツ振興センター）　（単位：件）

	令和４年度	令和３年度
幼　稚　園	2	8
小　学　校	205	230
中　学　校	191	185
計	398	423

4. 社会教育課

第1 主要事業

事　業　名 決算額（円）	概　　要
生涯学習推進事業 3,055,667	学習情報の提供、市民大学講座等の各種講座の開催、家庭教育学級などの生涯学習推進に係る活動促進を行った。
家庭教育支援事業 1,713,071	家庭の教育力を向上するため、親のための学習を進め、親子や家庭の在り方を学びあった。
地域づくり活動事業 56,404,440	地域づくり活動を活性化するための連絡会・研修会の開催や、各地区の各種地域づくり関係団体等の活動支援を行った。
青少年教育事業 1,367,528	青少年の自主性と協調性を養うため、各種青少年関係団体等の活動支援を行った。
青少年対策事業 4,382,618	補導活動、声掛け運動、立入調査などにより環境浄化を図るとともに、青少年に関する悩み相談として青少年はればれ相談を行った。また、市内 8 小学校区 9 教室で、放課後子ども教室を実施した。
青少年広場運営事業 8,500,000	避難地としての防災機能を備え、野外活動等が行える青少年広場を運営した。
富士山市民のサロン運営事業 31,631,672	御殿場駅前の民間施設を市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進し、社会教育の推進を図るために借上げ、「富士山市民のサロンけやきかん」を運営した。
文化財保護・活用事業 13,519,713	国、県、市指定文化財をはじめとする市内に所在する多様な文化財の保護に努めるとともに、その調査・保存・整備・活用を図った。「沼田・大坂の湯立神楽」は国指定後最初の奉納となり、文化庁、県文化財課が実施状況を調査した。
写真資料デジタル情報化事業 82,500	平成 24 年度に、図書館で所蔵する写真資料の有効活用と永年保存を図るため、デジタル情報化、デジタル画像の整理を実施した。 令和 4 年度においては、行政・マスコミ・市民等6件が利用した。
統計出前講座 0	夏休みの宿題等の課題に役立てるため、統計の基本をクイズで理解し、統計グラフの演習など基礎的なことを学習した。令和4年度は、県事業の統計出前講座として実施。開催日 7 月 16 日、参加者数 19 人。

事　業　名 決算額（円）	概　　要
文学講座（古典） 30,000	日本文学の作品に触れながら、文学への理解や親しみを深め、読書機会を増やすことを目的に、古典文学講座を開催した。 令和４年度は、平安時代の日記文学を取り上げて実施。開催日１月7･14･21日、参加者数：22人。
文学散歩 82,900	富士宮方面の文学ゆかりの地を訪ね、文学への関心を深めた。 令和４年度は、富士宮に関わる文学作品を振り返りつつ、京都や江戸とのかかわりについて学習。見学先は「富士宮浅間大社」ほか。開催日６月27日、参加者数20人
図書館資料等の リサイクル	館内に「リサイクルブックスコーナー」を常設し、図書館の除籍資料や市民等から寄せられた図書を希望者に無料で提供した。提供冊数 4,945冊。
読書推進及び利用の 充実及び広域利用の 推進	様々な機会をとらえて、読書に親しむようPRを実施した。特に子ども読書週間と読書推進月間に広報等で啓発を強化した。また、近隣３市３町（裾野･沼津･三島･小山･長泉･清水）並びに富士市･富士宮市とも協力し、在勤･在学だけでなく、関係住民への広域利用の推進･利用拡大を図った。
中学生ボランティア･ 職場体験学習	中学生に図書館業務を体験してもらい、図書館サービスに対する理解を深めた。受入日10月26･27日、11月17･18日、参加者数15人。
夏休み宿題 応援コーナー	小･中学生の夏休みの宿題や自由研究の相談に応じて、資料を紹介し支援した。開設期間：夏休み期間中。
親子おはなしの会	幼児とその親を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、本の楽しさや読書への関心を培った。開催日は毎月第2･4水曜日。開催回数24回、参加者数310人。
子ども読書活動推進 事業 28,000	子ども読書活動推進計画に基づき、次のような事業を実施した。 ① 図書館まつりウィーク⇒3密を避けるため、11月3日から6日までの4日間で分散開催した。実施事業：絵本原画展、クイズラリー、折り紙教室、おはなしの会等。入館者数3,423人。 ② 読み聞かせ学習会⇒図書館ボランティアの会（7人）を講師として学習会を開催した。2月25日開催、参加者数19人。
ブックスタート事業 866,019	保健センターで行われる6か月児健康診査の受診者を対象に、絵本や読み聞かせアドバイス集などを提供し、読み聞かせによる親子のふれあいの大切さを伝えた。提供595組。 ブックスタート学習会は、活動内容や目的を理解し、他自治体の状況や課題等について学習。11月9日開催、参加者数19人

事　業　名 決算額（円）	概　　要
図書整備事業 9,999,978	市民の資料・情報センターとして広い分野の図書及び視聴覚資料を購入し市民の利用に供した。購入冊数は成人図書 3,221 冊、児童図書 1,510 冊、視聴覚資料 33 点、合計 4,764 点。
新図書館等整備事業 136,344,812	建物の耐震強度の不足による安全性の問題、施設の老朽化による雨漏り等の多発のための修繕費用の増加、蔵書・資料の増大によるスペースの不足や図書館ニーズの多様化への対応等のため、令和３年１月に策定した「御殿場市立図書館等整備基本構想」に基づき、郷土資料館を複合化した新図書館を整備する事業。 令和 4 年度は、市民の意見を基本計画に生かすため、市民ワークショップを 2 回、小学生ワークショップを 2 回行って基本計画を策定したほか、基本・実施設計に取り組むとともに、建設予定地の敷地造成工事などを実施した。
芸術文化振興事業 4,167,617	市民が主体となって運営し、薫り高い文化の振興を図るとともに幅広い市民に発表の場を提供することを目的とした「ごてんば市民芸術祭」を開催した。また、文化活動を行う団体や次世代の担い手への支援を行った。
文化施設運営事業 138,280,000	市民会館では、多彩なカルチャー教室、独自性のある自主事業を開催した。東山旧岸邸では、文化イベントを開催し、施設の利用促進とPRを行った。

第2 事務事業

1 各種委員会開催状況

委 員 会 名	委 員 数	開催数	主 な 審 議 内 容
社会教育委員会	14 人	4 回	社会教育に関する事業について、審議、調査・研究、指導・助言等を実施
青少年問題協議会	20 人	2 回	青少年健全育成に係わる総合的施策を審議、各機関や関係団体相互の連携調整を実施
生涯学習推進会	11 人	2 回	生涯学習推進に係る課題検討、各種団体間の意見交換
地域づくり活動主事連絡会	64 人	3 回	各地区地域づくり活動主事の情報交換、学習講座を実施
青少年健全育成会連絡協議会	12 人	1 回	各地域の青少年健全育成団体の情報交換、青少年の健全な育成についての協議
青少年センター運営懇話会	13 人	1 回	青少年センターの業務内容に関する協議、意見交換を実施
放課後子どもプラン運営委員会	15 人	1 回	子ども達の総合的な放課後対策と放課後子ども教室事業の検討
文化財審議会	14 人	4 回	文化財の保護に関する審議・建議 博物館に関する調査研究、市指定文化財の指定に関する諮問に対する答申
図書館協議会	9 人	2 回	図書館運営に関する諮問、図書館の行う図書館サービスに関する意見交換
子ども読書活動推進会議	14 人	2 回	子ども読書活動推進計画に基づく子ども読書活動の推進

2 社会教育事業実施状況

区分	事　業　名	月 日	参加者数	事　業　概　要
生涯学習推進事業	生涯学習推進組織の運営事業	年 間	－	生涯学習推進会の開催（2 回）
	啓発・情報提供事業	年 間	－	生涯学習情報みちしるべの発行や県民カレッジ連携講座の促進
	生涯学習活動促進事業	年 間	－	生涯学習推進事業の奨励、生涯学習ボランティアの育成
	生涯学習推進功労賞	2 月 19 日	-	生涯学習活動を継続して行っている個人・団体で、その活動が生涯学習の推進に特に顕著と認められるものを表彰した。受賞者：4 人、1 団体
	地域づくり活動 広報紙コンクール表彰	2 月 19 日	-	地域コミュニティ活性化を目指し、各区で定期的に発行した広報紙のコンクールを実施し、優秀な作品を表彰した。 優秀賞：2 作品、奨励賞：3 作品、 特別賞：2 作品
	市民大学講座	8 月 25 日～ 12 月 22 日	延べ 287 人	産業、環境、芸術文化等をテーマとした学習講座を実施（全 5 回）
	ごてんばの日記念事業 第 16 回生涯学習のつどい「ごてんば DONDON」	2 月 19 日	200 人	市民の日頃の学習成果を発表するとともに、新たな生涯学習活動の啓発を行い、生涯学習意識の高揚と心豊かな人づくり、地域づくりを図る
	富士山市民のサロン運営事業	年 間	－	市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進するため、富士山市民のサロンを運営
家庭教育支援事業	家庭教育学級運営委員研修	4 月 26 日～ 1 月 31 日	延べ 321 人	家庭教育学級の運営委員向けの知識、技能の基本を習得する研修（全6回）
	楽しい子育て教室	5 月 11 日～ 12 月 21 日	1 歳児 10 組 2 歳児 14 組	親のあり方・しつけ方の指導など、親のための託児保育サービス付きの育児セミナー（1 歳児 5 回、2 歳児 11 回）
	子育て学習（親学）講座	2月	小 8校 中 4校	小中学校の新入学生の保護者を対象にした家庭教育を考える講座

区 分	事　業　名	月 日	参加者数	事　業　概　要
地域づくり活動事業	地区地域づくり事業	年 間	6 地区	地区の体育・文化事業、婦人会、青少年健全育成事業などの振興
	地域づくり活動主事連絡会	年 間	延べ 145 人	地域づくり活動情報交換会ほか（全 3 回）
	地域づくり活動学習講座	7 月 11 日	延べ 42 人	地域づくり活動・生涯学習活動の研修会・学習会を実施（全２回中１回中止）
青少年教育事業	青少年団体の育成	年　間	－	青年団等活動調査や青少年教育団体への支援を実施
	第 44 回わたしの主張発表大会	6 月 11 日	入場者 272 人	小・中学校の児童・生徒の代表が、日頃感じていることを市民に発表する大会
	青少年チャレンジ体験事業	中 止	－	青年スタッフの指導者としての資質の向上と、小学生の自立心・協調性を養う目的で実施する事業（令和４年度 中止）
	二十歳の集い	1 月 8 日	対象者数 1,299 人	二十歳を祝う式典の挙行
青少年対策事業	県内一斉夏季立入調査	7 月 6 日、7 日	76 店舗	書店、コンビニエンスストア、遊技場、玩具店、携帯電話販売店他の実態把握調査
	社会環境実態調査	12 月 7 日、8 日	93 店舗	
	青少年補導委員研修会	5 月 9 日	109 人	補導委員の研修（青少年補導委員委嘱状交付式及び連絡会議内で実施）
	青少年はればれ相談（はればれダイヤル）	年 間	41 件	青少年・保護者などからの相談に基づく適切な助言等を行う（82-8080）
	地区健全育成事業	年 間	－	地区の青少年健全育成団体活動の促進、啓発の推進

区 分	事　業　名		月 日	参加者数	事　業　概　要
	補導活動	街 頭	年 間	207 人	41 回実施
		校 区	年 間	242 人	8 回実施
		県内一斉	7 月 20 日	95 人	県下一斉に行う非行等の未然防止活動（校区補導の内数）
			12 月 14 日	107 人	
	放課後子ども教室		5 月～2 月	8 校区 9 教室 143 人	子どもを地域社会の中で心豊かに育むことを目的に、放課後の居場所として週 1 回程度、年間 22 回～26 回の教室を実施
文化財保護・活用事業	民俗資料収蔵庫管理		年 間	－	考古資料・民俗資料・富士山気象観測資料の収集、整理、補修
	指定文化財等管理		年 間	－	国・県・市指定文化財、国登録文化財の管理、国庫補助等の補助事業実施の支援、富士山巡礼路調査の実施
	深沢城跡整備事業		年 間	－	県指定史跡深沢城跡の保全
	沼田・大坂の湯立神楽指定への軌跡展		2～3 月	－	国重要無形民俗文化財に指定された沼田・大坂の湯立神楽に関する記録写真を中心とした企画展示
発刊物	令和３年度家庭教育学級のあゆみ『ふじざくら』		6 月	150 部	家庭教育学級運営の手引き及び実践記録集
	第 44 回わたしの主張発表大会発表文集		3 月	76 部	わたしの主張発表大会で作品募集した小学生の作品 10 点、中学生の作品 6 点及び校長会長による講評や 44 年の歩みなどを収録した記録集
	生涯学習情報『みちしるべ』		奇数月発行（全 6 回）	各回 35,000 部	広報ごてんば紙面に掲載する生涯学習関連事業情報紙

3 芸術文化振興事業実施状況

	部門	行事名	開催日	出品数 出演人数	入場者数等
市民芸術祭	展示部門	美 術 展	9月29日 ～10月2日	67点	油彩画、水彩画等の作品を公募、審査し展示 入場者500人
		書 道 展	10月8日 ～10日	80点	書道作品を公募、審査し展示 入場者500人
		刀剣展示会	10月8日 ～10日	200点	武具刀剣の展示 入場者300人
		文 化 展	10月29日 ～30日	207点	園芸・手工芸・俳句作品等を公募し、展示 入場者600人
		和装作品展示	10月29日 ～30日	120点	和装作品の展示 入場者200人
		華 道 展	11月5日 ～6日	76点	華道作品を公募し、展示 入場者500人
		写 真 展	11月17日 ～20日	115点	写真作品を公募、審査し展示 入場者500人
		ジュニアアート展（書道部門 小学生の部）	11月23日 ～12月6日	869点	市内小学生の書道作品を公募、審査し展示 入場者3,400人
		ジュニアアート展（書道部門 中学生の部）	12月8日 ～13日	174点	市内中学生の書道作品を公募、審査し展示 入場者500人
		キッズ美術展（幼稚園・保育園）	1月19日 ～2月5日	354点	市内の幼稚園・保育園児の絵画作品を展示 入場者1,400人
		ジュニアアート展（絵画部門 小学生の部・中学生の部）	2月8日 ～12日	301点	市内小学生・中学生の絵画作品を公募、審査し展示 入場者1,200人

市民芸術祭	ステージ部門	ジュニア フェスティバル	7月10日	4団体	中学生以下の団体による演劇、ダンスなどの舞台発表 入場者600人
		洋舞 フェスティバル	7月10日	10団体	バレエ、ジャズダンス、フラダンス等のグループの舞台発表 入場者800人
		邦楽のつどい	10月10日	10団体	日本舞踊、三曲、謡曲の舞台発表 入場者200人
		日本芸能の つどい	10月15日	11団体	民謡、詩吟、民踊の舞台発表 入場者300人
		コーラスフェスティバル	10月16日	11団体	合唱グループの舞台発表 入場者400人
		吹奏楽のつどい	11月19日	7団体	中学・高校・一般の吹奏楽団の演奏 入場者600人
		ほのぼの コンサート	中止		
		歌謡のつどい	中止		
		アマチュアダンス フェスティバル	中止		
	その他	オープニング セレモニー	7月10日		出席者 400人
		囲碁大会	10月2日	38人	市民による囲碁大会
		着物の着付け 体験	10月29日 ～30日	6人	講師による着付け指導
		小中学生将棋大会	10月30日	40人	小中学生による将棋大会
		もみじ茶会	11月12日		入場者 200人
文化芸術賞賜金交付事業			年間	0団体	文化芸術の振興のため、市を拠点として文化芸術部門の活動を行い優秀な成績を収めた高校生に賞賜金を交付するもの。

4 社会教育課所管施設管理状況

事 業 名	令和４年度	令和３年度
市民会館指定管理料	113,530,000 円	113,086,600 円
東山旧岸邸指定管理料	24,750,000 円	24,750,000 円
青少年広場指定管理料	8,500,000 円	8,500,000 円
富士山市民のサロン運営事業費	31,631,672 円	32,176,285 円

5 社会教育課所管施設利用状況

施 設 名	令和４年度	令和３年度
市民会館大ホール	31,930 人	15,295 人
〃 小ホール	17,475 人	55,644 人
〃 会議棟	53,808 人	47,113 人
（小　計）	(103,213 人)	(118,052 人)
東山旧岸邸	27,420 人	11,769 人
（小　計）	（27,420 人）	（11,769 人）
青少年広場炊事棟	181 人	198 人
〃　運動広場	510 人	281 人
〃　自由広場	148 人	192 人
〃　遊歩道等	7,180 人	7,180 人
（小　計）	（8,019 人）	（7,851 人）
富士山市民のサロン	37,989 人	33,657 人
（小　計）	（37,989 人）	（33,657 人）
合　計	176,641 人	171,329 人

6 所蔵資料

(1)図書

分　野　別	令和４年度	令和３年度
総記	9,935 冊	9,834 冊
哲学	8,154 冊	8,052 冊
歴史	19,612 冊	19,368 冊
社会科学	29,534 冊	29,435 冊
自然科学	12,575 冊	12,841 冊
工学	7,802 冊	7,935 冊
家事	5,802 冊	5,656 冊
産業	5,065 冊	5,012 冊
芸術	14,885 冊	14,986 冊
言語	3,559 冊	3,553 冊
文学	75,358 冊	74,429 冊
成人図書計…a	192,281 冊	191,101 冊
児童書	37,181 冊	37,847 冊
絵本	25,862 冊	25,592 冊
紙芝居	1,587 冊	1,573 冊
児童図書計…b	64,630 冊	65,012 冊
郷土資料…c	23,187 冊	22,998 冊
外国語図書…d	1,485 冊	1,470 冊
計a+b+c+d	281,583 冊	280,581 冊

(2)視聴覚資料

種　　別	令和４年度	令和３年度
DVD	1,376 枚	1,362 枚
コンパクトディスク	1,061 枚	1,059 枚
カセットテープ	2 巻	2 巻
ビデオテープ	19 巻	19 巻
視覚障害者用音訳図書	1,228 巻	1,227 巻
点字図書	113 点	113 点
合　　計	3,799 点	3,782 点

(3)その他の資料

種　　別	令和４年度	令和３年度
雑誌	113 誌	110 誌
新聞	18 紙	19 紙

7 登録者数

(1)年齢区分別

年 齢 区 分	令和４年度	令和３年度
0～12 歳	3,244 人	3,415 人
13～15 歳	1,829 人	1,904 人
16～18 歳	2,101 人	2,192 人
19～29 歳	8,756 人	8,616 人
30～39 歳	8,552 人	8,392 人
40～49 歳	10,469 人	10,367 人
50～59 歳	8,023 人	7,477 人
60 歳以上	11,185 人	10,458 人
合　　計	54,159 人	52,821 人

(2)登録率

	令和４年度	令和３年度
登録率 (登録者数÷人口)	64.08% (人口 84,523 人 R5.3.31 現在)	61.54% (人口 85,828 人 R4.3.31 現在)

8 利用統計

(1)開館日数

館　　別	令和４年度	令和３年度
本館	304 日	302 日
地区図書館	192 日	192 日
移動図書館	194 日	192 日

(2)入館者数

館　　別	令和４年度	令和３年度
本館	141,687 人	134,911 人
地区図書館	2,914 人	2,679 人
移動図書館	12,246 人	20,952 人
合　　計	156,847 人	158,542 人

(3)利用者数

館　　別	令和４年度	令和３年度
本館	77,801 人	74,214 人
地区図書館	2,138 人	1,839 人
移動図書館	3,598 人	3,900 人
合　　計	83,537 人	79,953 人

(4)資料種別の貸出冊数

資 料 種 別	令和４年度	令和３年度
一般図書	181,810 冊	180,433 冊
児童図書	193,402 冊	202,329 冊
外国語図書	381 冊	383 冊
雑誌	15,604 冊	15,633 冊
視聴覚資料	7,982 点	8,193 点
合　　計	399,179 冊	406,971 冊

(5)館別の貸出冊数

館　　別	令和４年度	令和３年度
本館	366,128 冊	372,046 冊
地区図書館	9,294 冊	8,043 冊
移動図書館	23,757 冊	26,882 冊
合　　計	399,179 冊	406,971 冊

(6)その他の統計

内　　容	令和４年度	令和３年度
人口1人当りの貸出冊数	4.72 冊	4.74 冊
人口1人当りの蔵書冊数	3.33 冊	3.27 冊
人口1人当りの図書購入費	118 円	116 円
図書回転数 貸出冊数÷蔵書数	1.42 冊	1.45 冊
複写サービス	2,977 枚	2,825 枚
予約・リクエスト件数	14,869 件	11,339 件
レファレンス質問受付件数	3,944 件	4,476 件
他館との相互貸借・借入冊数	1,135 冊	946 冊
他館との相互貸借・貸出冊数	560 冊	474 冊
視聴覚コーナー利用件数	0 件（年間通して利用中止）	0 件（年間通して利用中止）
リサイクルブックス提供実績	4,945 冊（常設）	4,482 冊（常設）

9 広域利用統計

（1）御殿場市立図書館を利用している近隣住民の登録者数（在勤・在学）

市　町　別	令和４年度	令和３年度
小山町	431 人	404 人
裾野市	295 人	274 人
長泉町	37 人	33 人
清水町	7 人	6 人
沼津市	62 人	53 人
三島市	48 人	47 人
その他市町村	231 人	197 人
合　　計	1,111 人	1,014 人

（2）御殿場市立図書館を利用している近隣住民の登録者数（広域利用）

市　町　別	令和４年度	令和３年度
小山町	1,785 人	1,647 人
裾野市	767 人	739 人
長泉町	63 人	58 人
清水町	17 人	16 人
沼津市	94 人	83 人
三島市	68 人	64 人
その他市町村	37 人	36 人
合　　計	2,831 人	2,643 人

5. 学校給食課

第1 主要事業

事　業　名 決算額（円）	概　　要
日常の食生活習慣の育成	栄養士の学校訪問、給食だよりの発行、市ホームページへの給食献立表の掲載等により、学校・家庭・地域との連携を深め栄養指導の充実を図った。
学校給食の合理的運営 131,200	学校給食センター運営委員会の意見、要望を反映するとともに、研修会等の実施により、調理技術の向上を目指し、業務の円滑な運営に努めた。
学校給食施設の整備事業	各センターの施設整備を計画的に行い、調理・衛生環境の向上を図った。また、稼働後 30 年以上が経過し老朽化した西学校給食センターの、大規模改修整備事業に着手した。
衛生思想の普及	良質で新鮮な給食用物資の選定を行うとともに、衛生講習会等により衛生管理の徹底に努めた。
作業安全の確立	施設の点検、清掃の徹底により、作業の安全と事故防止に努めた。
学校給食費助成事業 108,192,603	全小中学生の学校給食費について、4 分の 1 助成事業を令和元年 10 月から実施している。 また、物価高騰分についても市で助成した。
新型コロナウイルス感染拡大防止事業 1,839,966	全学校の給食時における消耗品購入を行い、感染拡大防止に努めた。

第2 事務事業

1 委員会等開催

	R4 年度	R3 年度
学校給食センター運営委員会	2 回	2 回
学校給食調理業務	193 回	188 回
給食記念週間試食会	0 人	0 人
調理従事者研修会	2 回	2 回

2 学校別給食対象生徒･児童人数

学　校　名	R4 年度	R3 年度
御殿場小学校	1,034 人	1,082 人
御殿場南小学校	705 人	716 人
原　里　小　学　校	449 人	473 人
朝　日　小　学　校	380 人	395 人
玉　穂　小　学　校	440 人	457 人
富士岡小学校	533 人	565 人
神　山　小　学　校	236 人	264 人
東　小　学　校	328 人	342 人
印　野　小　学　校	110 人	103 人
高　根　小　学　校	225 人	233 人
上　小　林　分　校	10 人	11 人
御殿場中学校	692 人	665 人
南　中　学　校	436 人	431 人
富士岡中学校	533 人	551 人
原　里　中　学　校	399 人	417 人
西　中　学　校	295 人	301 人
高　根　中　学　校	118 人	128 人
合　　計	6,923 人	7,134 人

3 施設管理事業

事　業　名	内　　容	
施設維持補修事業	（西学校給食センター）	
	排水処理施設機器修繕	599,060 円
	プレハブ冷蔵庫庫内ステンレス貼り修繕	605,000 円
	（南学校給食センター）	
	洗浄室非常灯交換修繕	990,000 円
	AEN 食器洗浄機・食器浸漬機外修繕	926,728 円
	小荷物専用昇降機部品交換修繕	550,000 円
	（高根学校給食センター）	
	ガス漏れ警報設備修繕	1,056,000 円
	食器供給装置修繕	597,080 円
施設整備事業	（西学校給食センター）	
	トレー購入	1,039,500 円
	二重保温食缶購入	1,047,200 円
	（南学校給食センター）	
	ごはん椀購入	5,170,000 円
	配送用コンテナ購入	17,325,000 円
小中学校配膳室 維持補修事業	富士岡中学校配膳室小荷物専用昇降機修繕	314,600 円
南学校給食センター 建設費等償還金	建設費償還金及び維持管理・運営費	103,827,377 円
施設改修事業	（西学校給食センター） 第Ⅰ期 改修工事 ボイラー改修工事	70,972,000 円

◆監査委員による決算審査の概要

1. 審査の実施概要

・実施日時 ： 令和5年8月3日（木） 13:10～
・実施会場 ： 御殿場市役所5階大会議室
・審査者　 ： 御殿場市監査委員2名
・被審査者 ： 教育部各課

2. 決算内容の説明

令和4年度の教育部の決算について、歳入及び歳出の決算状況について報告を行った。

3. 決算に対する確認等及び説明の概要

（1）【歳入】

ア 決算付属資料関連

・学校給食費の収入未済額について、

学校給食費の現年度分の収入未済について確認があり、収納状況や未済額の回収見込みについて説明をした。あわせて、過年度の未済額やその督促方法について確認があり、実際の督促の実施状況について説明を行った。また、不能欠損や督促等の法的行為、債権管理簿の整理等に関する注意喚起を受けた。

（2）【歳出】

ア 決算付属資料関連

・建築関連工事について

予算残に関連し、教育部全体の建築関連工事に係る質疑があり、令和4年度の入札件数や平均落札率、建設資材の高騰による影響について、状況の説明をした。

イ 教育総務費＿教育委員会費

・使用料及び賃借料予算の未執行について

未執行の予算について確認があり、コロナ禍の影響により教育委員の視察研修が中止となった点の説明をした。

ウ 教育総務費__事務局費

・育英奨学資金貸与事業について

①貸付金の減少傾向の原因、②債権管理条例への対応状況、③返還状況についての確認があり、それぞれ、①他の奨学制度の充実等により減少している状況、②過去の債権記録の確認等を実施した点、③前年度の返還状況及び遅延者への対応状況について説明をした。

また、不能欠損や督促等の法的行為の実施に関する注意喚起を受けた。

エ 教育総務費__教育指導費

（ア）学校教育支援事業（教育相談事業）について

富士山市民のサロン「けやきかん」で行っている不登校児童生徒への個別学習支援について確認があり、支援の概要及び利用状況について説明をした。

（イ）学校教育支援事業（特別支援教育推進事業・発達障害児支援事業）について

配慮が必要な児童生徒の傾向と、巡回指導員や補助者の人材確保の課題について確認があり、昨年度の配置状況及び今年度補助者を増員した点と、課題として年度途中の退職に伴う欠員補充が困難な点の説明をした。

（ウ）学校教育支援事業（ICT 支援員配置事業）について

事業内容、支援員の人数や業務体制、事業１年目の成果と課題について確認があり、ICT支援員の体制・役割や学校への支援内容について説明するとともに、成果としてICT機器の操作スキルの向上や授業等での効果的な活用につながった点を伝えた。また、課題として、ICT機器の活用頻度の差が教育格差につながる懸念がある旨及びICT支援員を追加配置することで格差解消を図っていることの説明をした。

オ 小学校費__学校管理費

・施設維持管理費について

前年度と比較した上での電気料金の値上げによる影響の程度及び経費節減の取り組みについて確認があり、小学校の電気使用量の実績と前年度比の増分割合を伝えるとともに、各校に周知している電気使用量節減のための運用指針について説明をした。

小学校環境整備事業について、御殿場小学校の改修工事の概要と進捗状況及び特色について確認があり、工事の概要と進捗状況、今後の予定について伝えるとともに、外壁等の全面改修や照明器具のLED化を始めとする改修工事の特色について説明をした。

カ 小学校費__教育振興費

（ア）教育用コンピュータ整備事業について

１人１台端末の具体的な活用状況について確認があり、授業等での活用事例及びそれにより高まった教育的効果や利便性について説明をした。

（イ）小学校扶助費について

就学援助の支給対象保護者が見込みより減となった状況及び理由について確認があり、令和4年度の就学援助の実施状況と決算が見込みより減となった理由について説明をした。

キ 中学校費__学校管理費

確認事項なし。

ク 中学校費__教育振興費

・教育用コンピュータ整備事業について

事業予算の使途が端末に係る費用であるか、その有無についての確認があった。

ケ 中学校費__西中学校校舎改築事業費

・西中学校校舎改築事業費について

事業予算の使途が建築・解体と、外構道路で使われているかとの点について、その有無の確認があった。

コ 幼稚園費__幼稚園費

確認事項なし。

サ 社会教育費__社会教育総務費

（ア）予備費充用について

会員数が減少した団体への活動を維持するための補助金に充用した予備費について、団体別の交付内訳及び増分の算定根拠について確認があり、各団体への交付内訳及び増分の支出内容について説明をした。

（イ）放課後子ども教室推進事業について

放課後子ども教室の実施状況及びコロナ禍による影響について確認があり、コロナの影響下における教室の開催状況及び利用状況について説明をした。

シ 社会教育費__文化財費

・文化財一般事業について

富士山麓の調査研究として実施している事業の内容について確認があり、複数年で実施している事業の費用負担及び調査内容について説明をした。

ス 社会教育費__図書館費

（ア）予備費充用について

裾野市のスプリンクラーの問題を受けて図書館に設置した防犯カメラの状況について確認があり、設置場所及び設置台数について説明をした。

（イ）施設維持管理費について

施設維持管理費の増分の内容と経費節減対策について確認があり、光熱費の値上がりが影響している点及び図書館で実施している節電への取り組みについて説明をした。

（ウ）新図書館等整備事業について

事業用地価格が適正かどうかの確認方法と新図書館の整備基本計画の意見公募の反響について確認があり、購入価格の算定方法及び意見の状況について説明をした。

セ 社会教育費__芸術文化振興費

（ア）市民芸術祭事業について

市民芸術祭について、芸術祭の概要及びコロナ禍による影響について確認があり、実行委員会組織の概要及びコロナ禍における開催方法について説明をした。

（イ）予備費充用について

予備費充用により市民会館に設置した監視カメラの設置経緯及び背景について確認があり、裾野市のスプリンクラーの問題を受けて設置した点と、カメラの設置台数及び設置場所について説明をした。

ソ 学校給食費__給食センター運営費

（ア）会計年度任用職員人件費について

人手不足による業務への影響及び対策について確認があり、対応策として実施している職員への負担軽減策及び調理員への応募促進策について説明をした。

（イ）学校給食諸経費について

物価高騰に伴う賄材料費等への影響について確認があり、実施している対応策や工夫について説明をした。

（ウ）施設維持管理費について

電気料金やガス燃料費の値上がりの影響及び経費削減策について確認があり、補正計上した点や光熱水費の状況について伝えるとともに、調理員の健康管理に配慮しつつ実施している節電策について説明をした。

令和5年度（令和4年度事業対象）

御殿場市教育委員会
教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価等
＜令和4年度主要施策報告書＞

令和5年 10 月

御殿場市教育委員会